

たわらノーロード 全世界株式

追加型投信／内外／株式（インデックス型）

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、主としてマザーファンドへの投資を通じて、国内外の株式に実質的に投資し、MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（円換算ベース、配当込み、為替ヘッジなし）に連動する投資成果を図ることを目的として、運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2023年10月13日～2024年10月15日

第6期	決算日：2024年10月15日	
第6期末 (2024年10月15日)	基準価額	24,525円
	純資産総額	71,792百万円
第6期	騰落率	30.9%
	分配金合計	0円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。
(注2) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

（受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで）

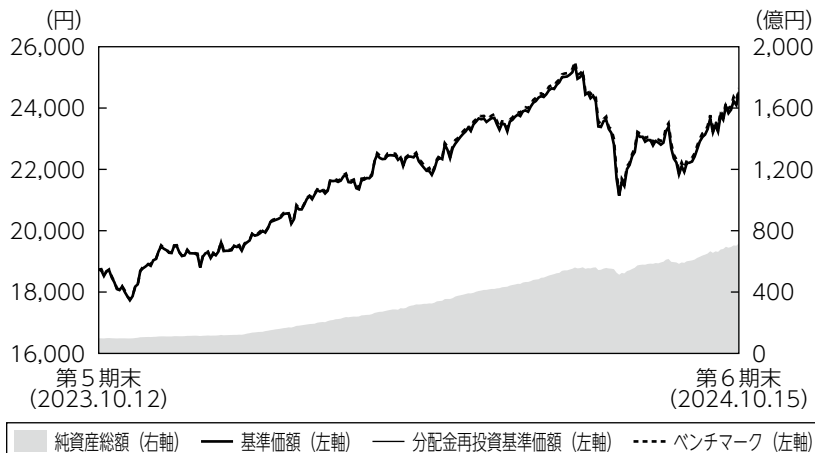
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <https://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



第6期首：18,736円
 第6期末：24,525円
 (既払分配金0円)
 騰落率：30.9%
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額およびベンチマーク (MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス (円換算ベース、配当込み、為替ヘッジなし)) は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。なお、ベンチマークについては後掲の<当ファンドのベンチマークについて>をご参照ください。
- (注4) ベンチマークの算出にあたっては米ドルベース指数をもとに委託会社が独自に円換算しています (以下同じ)。

基準価額の主な変動要因

国内外の株式市場が、米CPI (消費者物価指数) の伸び鈍化に伴う米国の利下げ期待などを背景に上昇した他、ベンチマークを構成する大半の通貨が対円で上昇したことなどがプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。

◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

組入ファンド	騰落率
外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド	32.7%
エマージング株式パッシブ・マザーファンド	24.3%
MSCIジャパン・インデックス・マザーファンド	19.5%

1 万口当たりの費用明細

項目	第6期		項目の概要
	(2023年10月13日 ～2024年10月15日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	25円	0.114%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は21,798円です。
(投信会社)	(8)	(0.037)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(12)	(0.055)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(5)	(0.022)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	1	0.004	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(株式)	(1)	(0.002)	
(先物・オプション)	(0)	(0.001)	
(投資信託受益証券)	(0)	(0.000)	
(投資証券)	(0)	(0.000)	
(c) 有価証券取引税	2	0.008	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(2)	(0.008)	
(投資信託受益証券)	(0)	(0.000)	
(投資証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	8	0.035	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(6)	(0.028)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(1)	(0.005)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	35	0.162	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

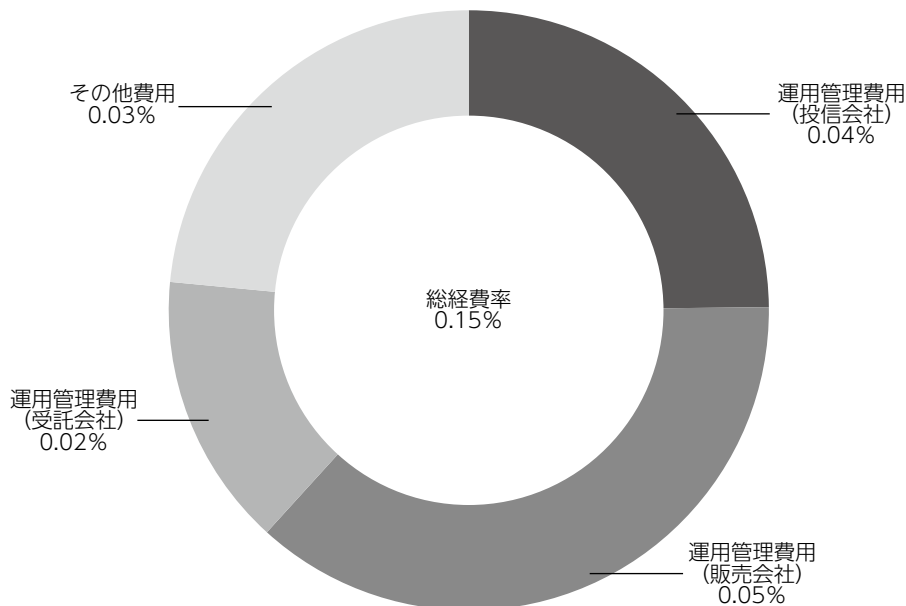
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.15%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額およびベンチマーク (MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス (円換算ベース、配当込み、為替ヘッジなし)) は、2019年10月15日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2019年10月15日 期首	2020年10月12日 決算日	2021年10月12日 決算日	2022年10月12日 決算日	2023年10月12日 決算日	2024年10月15日 決算日
基準価額 (分配落) (円)	9,974	11,071	14,734	14,907	18,736	24,525
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	11.0	33.1	1.2	25.7	30.9
ベンチマークの騰落率 (%)	—	11.9	34.0	1.6	26.1	31.6
純資産総額 (百万円)	153	360	974	3,095	9,822	71,792

投資環境

先進国株式市場は上昇しました。米政府機関閉鎖の懸念などから調整して始まりましたが、2023年11月以降は米欧などで早期利下げ観測が浮上し長期金利が低下したことから多くの市場が上昇しました。その後、中東情勢の緊迫化や米大型ハイテク株の下落などが重しとなり調整する場面も見られましたが、パウエルF R B（米連邦準備理事会）議長が、2024年9月の利下げを示唆したことなどから反発し、利下げ後も更なる利下げ期待から高値圏で期末を迎えました。

新興国株式市場（円換算ベース）は上昇しました。米国の利下げ観測を受け新興国市場でも金利低下期待から堅調に推移しました。なかでも半導体関連を中心にハイテク株が堅調であった台湾、景気拡大を背景に堅調な企業業績が続くインド、2024年9月に金融緩和策を中心とした大規模な景気刺激策を発表した中国などが上昇しました。

国内株式市場は上昇しました。為替の円安進行や好調な国内企業決算などを受けて堅調に推移していましたが、2024年8月には市場想定以上の日銀の金融引き締め姿勢を受けて円高が急速に進行したことや、米景気後退懸念の台頭などにより急落しました。その後は日銀が利上げを急がない姿勢を示したことなどから円高が一服し、やや値を戻して期末を迎えました。

為替市場では、米ドルは期初から2023年12月にかけて円高ドル安が進んだ後、期半ばにかけてはF R Bによる早期利下げ観測の後退などから円安ドル高となりました。期後半は2024年8月に発表された雇用統計の悪化などからF R Bの大幅利下げ期待が高まり円高ドル安になった後、期末にかけては再び円安ドル高に転じ、前期末比ではほぼ横ばいとなりました。ユーロは日欧の金利差を背景にユーロ高円安が進みました。

■ ポートフォリオについて

● 当ファンド

日本を含む先進国および新興国の株式等に実質的に投資を行い、ベンチマークに連動する投資成果をめざして運用を行いました。

● 外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド

ベンチマークであるMSCIコクサイ・インデックス（円換算ベース、配当込み、為替ヘッジなし）のリスク特性に概ね一致したポートフォリオを構築しました。

● エマージング株式パッシブ・マザーファンド

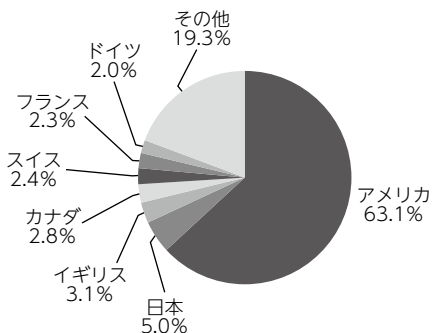
ベンチマークであるMSCIエマージング・マーケット・インデックス（円換算ベース、配当込み、為替ヘッジなし）のリスク特性に概ね一致したポートフォリオを構築しました。

● MSCIジャパン・インデックス・マザーファンド

ベンチマークであるMSCIジャパン・インデックス（配当込み）のリスク特性に概ね一致したポートフォリオを構築しました。

【運用状況】 2024年10月15日現在

○ 国別配分



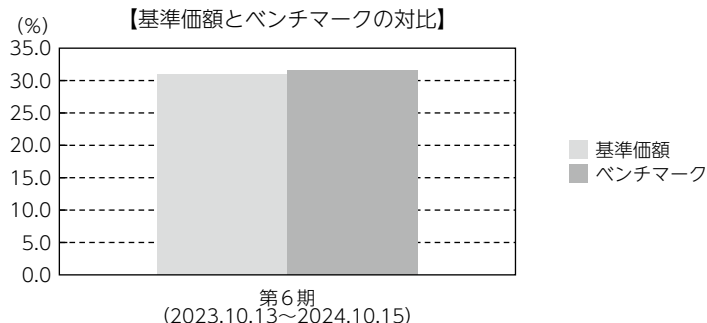
(注1) 比率は実質的に組入れている有価証券の評価額に対する割合です。

(注2) 発行国（地域）を表示しています。また、上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。

ベンチマークとの差異について

ベンチマークは前期末比で31.6%上昇しました。

当ファンドの基準価額はベンチマークを0.7%下回りました。信託報酬、各マザーファンドにおける取引コストや配当課税の影響などを除くと、概ねベンチマークと連動した運用成果となりました。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

当期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、無分配とさせていただきました。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2023年10月13日 ～2024年10月15日
当期分配金（税引前）	－円
対基準価額比率	－%
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	14,525円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

- 当ファンド

引き続き、ベンチマークに連動する投資成果をめざして、ベンチマークの構成比率に準じるよう各マザーファンドの組入比率を調整します。

- 外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド

引き続き、ベンチマークとポートフォリオのリスク特性を概ね一致させることで、ベンチマークに連動する投資成果をめざしたパッシブ運用を行います。

- エマージング株式パッシブ・マザーファンド

引き続き、ベンチマークに連動する投資成果をめざします。また、保有しているロシア関連銘柄につきましては、売却可能となり次第、速やかに売却する方針です。

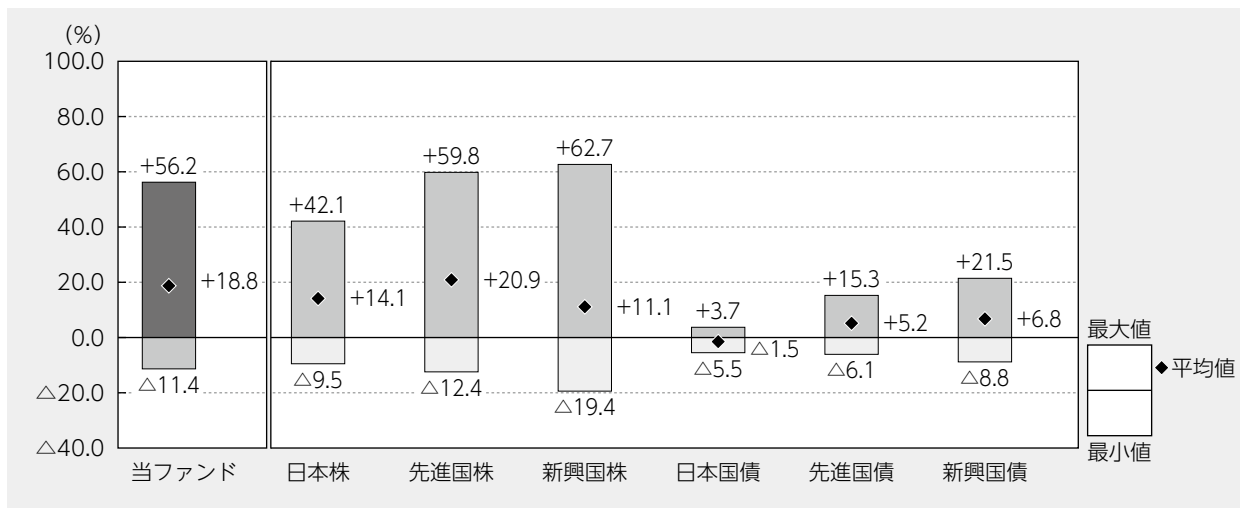
- MSCIジャパン・インデックス・マザーファンド

引き続き、ベンチマークに連動する投資成果を目標としたパッシブ運用を行います。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式（インデックス型）	
信託期間	2019年7月22日から無期限です。	
運用方針	MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（円換算ベース、配当込み、為替ヘッジなし）に連動する投資成果を図ることを目的として、運用を行います。	
主要投資対象	たわらノーロード 全世界株式	以下の各マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	外国株式パッシブ・ ファンド・マザーファンド	海外の株式を主要投資対象とします。
	エマージング株式 パッシブ・マザーファンド	海外の証券取引所に上場している株式 ^(*) を主要投資対象とします。 (*) DR（預託証券）もしくは株式と同等の投資効果が得られる権利を表示する証券および証書等を含みます。
	MSCIジャパン・ インデックス・ マザーファンド	わが国の金融商品取引所に上場する株式（上場予定を含みません。）を主要投資対象とします。
運用方法	主として、マザーファンド受益証券への投資を通じて、国内外の株式に実質的に投資し、MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（円換算ベース、配当込み、為替ヘッジなし）に連動する投資成果をめざします。 MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（円換算ベース、配当込み、為替ヘッジなし）への連動性を高めるため、有価証券先物取引等を活用する場合があります。 マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を保ちます。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。	
分配方針	決算日（原則として10月12日。休業日の場合は翌営業日。）に、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益（マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額（以下「みなし配当等収益」といいます。）を含みます。）および売買益（評価益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額）等の全額を分配対象額とし、基準価額水準、市況動向等を勘案して、決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



当ファンド : 2019年10月～2024年9月 (2019年10月～2020年6月はベンチマークのデータ)

代表的な資産クラス : 2019年10月～2024年9月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容（2024年10月15日現在）

◆組入ファンド等

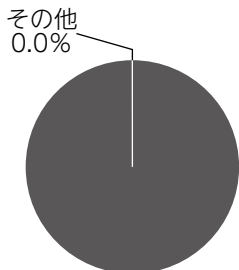
（組入ファンド数：3ファンド）

	当期末
	2024年10月15日
外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド	84.7%
エマージング株式パッシブ・マザーファンド	10.3
M S C I ジャパン・インデックス・マザーファンド	5.0
その他	0.0

（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

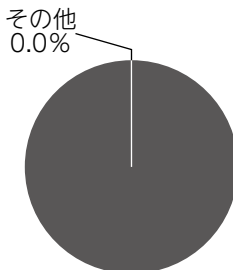
（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

◆資産別配分



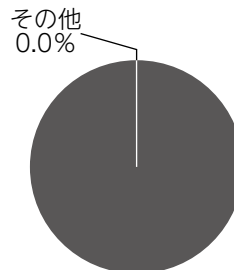
親投資信託受益証券
100.0%

◆国別配分



日本
100.0%

◆通貨別配分



日本・円
100.0%

（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。

純資産等

項目	当期末
	2024年10月15日
純資産総額	71,792,361,701円
受益権総口数	29,272,972,514口
1万口当たり基準価額	24,525円

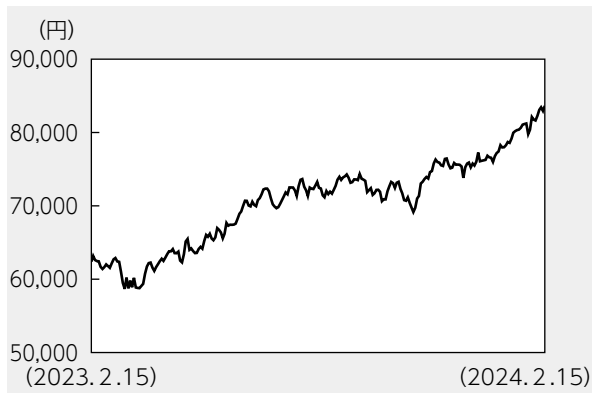
（注）当期中における追加設定元本額は26,558,795,122円、同解約元本額は2,528,286,410円です。

組入ファンドの概要

[外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド]

(計算期間 2023年2月16日～2024年2月15日)

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄 (現物)

銘柄名	通貨	比率
MICROSOFT CORP	アメリカ・ドル	4.9%
APPLE INC	アメリカ・ドル	4.9
NVIDIA CORP	アメリカ・ドル	3.1
AMAZON.COM INC	アメリカ・ドル	2.7
META PLATFORMS INC	アメリカ・ドル	1.8
ALPHABET INC-CL A	アメリカ・ドル	1.5
ALPHABET INC-CL C	アメリカ・ドル	1.3
ELI LILLY & CO	アメリカ・ドル	1.0
BROADCOM INC	アメリカ・ドル	0.9
TESLA INC	アメリカ・ドル	0.9
組入銘柄数	1,255銘柄	

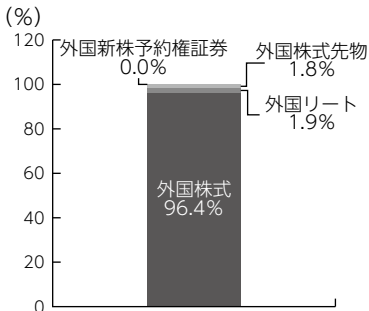
◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料	1円	0.002%
(株式)	(1)	(0.001)
(先物・オプション)	(0)	(0.001)
(投資信託受益証券)	(0)	(0.000)
(投資証券)	(0)	(0.000)
(b) 有価証券取引税	10	0.015
(株式)	(10)	(0.015)
(投資信託受益証券)	(0)	(0.000)
(投資証券)	(0)	(0.000)
(c) その他費用	17	0.024
(保管費用)	(12)	(0.016)
(その他)	(5)	(0.007)
合計	29	0.041
期中の平均基準価額は70,616円です。		

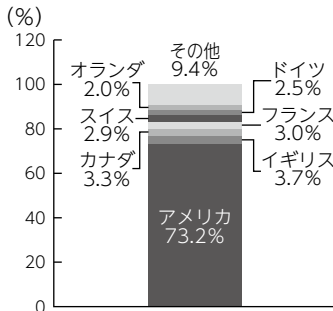
◆組入上位銘柄 (先物)

銘柄名	売買	比率
S&P500 EMINI FUT	買建	1.4%
DJ EURO STOXX 50	買建	0.2
FTSE 100 INDEX FUTURE	買建	0.1
S&P/TSE 60 IX FUT	買建	0.1
SPI 200 FUTURES	買建	0.0
組入銘柄数	5銘柄	

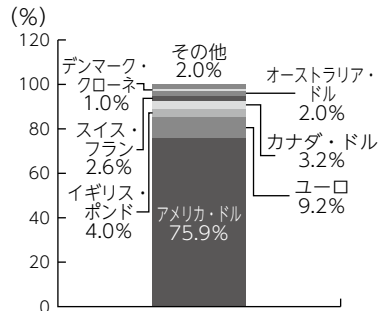
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分

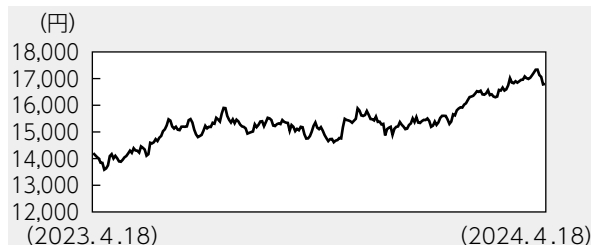


- (注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。
- (注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。
- (注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
- (注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
- (注5) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。
- (注6) 資産別配分、国別配分、通貨別配分については、現金等を考慮しておりません。
- (注7) 国別配分は発行国（地域）を表示しています。
- (注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

【エマージング株式パッシブ・マザーファンド】

(計算期間 2023年4月19日～2024年4月18日)

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄 (現物)

銘柄名	通貨	比率
TAIWAN SEMICONDUCTOR	台湾・ドル	8.0%
SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	韓国・ウォン	3.6
TENCENT HOLDINGS LTD	香港・ドル	3.4
ALIBABA GROUP HOLDING LTD	香港・ドル	1.9
RELIANCE INDUSTRIES LTD	インド・ルピー	1.4
SK HYNIX INC	韓国・ウォン	0.9
PDD HOLDINGS INC ADR	アメリカ・ドル	0.9
ICICI BANK LTD	インド・ルピー	0.9
MEITUAN	香港・ドル	0.8
CHINA CONSTRUCTION BANK	香港・ドル	0.8
組入銘柄数	1,340銘柄	

◆1万円当たりの費用明細

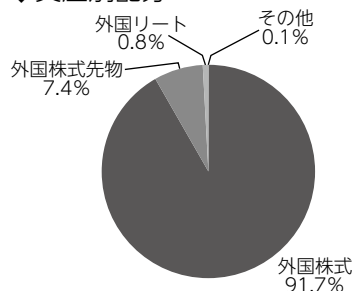
項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式) (先物・オプション) (投資信託受益証券) (投資証券)	9円 (7) (2) (0) (0)	0.057% (0.043) (0.014) (0.000) (0.000)
(b) 有価証券取引税 (株式) (投資信託受益証券) (投資証券)	13 (13) (0) (0)	0.087 (0.087) (0.000) (0.000)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	34 (24) (10)	0.221 (0.155) (0.066)
合計	56	0.364

期中の平均基準価額は15,373円です。

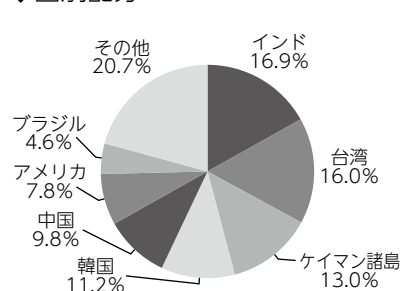
◆組入上位銘柄 (先物)

銘柄名	売買	比率
MINI MSCI EMG MKT	買建	7.4%
組入銘柄数	1銘柄	

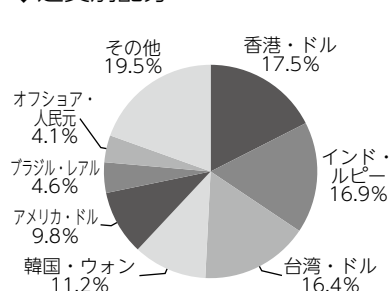
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万円当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万円当たりの費用明細」期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万円当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 国別配分は、発行国(地域)を表示しています。

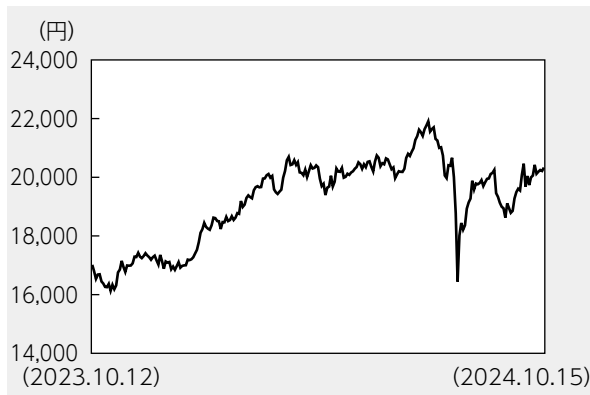
(注6) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。

(注7) その他は、総資産総額を100%として、現物と先物の比率を差し引いたものです。また、国別配分、通貨別配分については、現物と先物の比率を合計して表示しています。

(注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

【MSCIジャパン・インデックス・マザーファンド】 (計算期間 2023年10月13日～2024年10月15日)

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄 (現物)

銘柄名	通貨	比率
トヨタ自動車	日本・円	4.4%
日立製作所	日本・円	3.2
三菱UFJフィナンシャル・グループ	日本・円	3.0
ソニーグループ	日本・円	3.0
リクルートホールディングス	日本・円	2.5
キーエンス	日本・円	2.3
三井住友フィナンシャルグループ	日本・円	2.0
東京エレクトロン	日本・円	2.0
信越化学工業	日本・円	1.9
東京海上ホールディングス	日本・円	1.8
組入銘柄数	198銘柄	

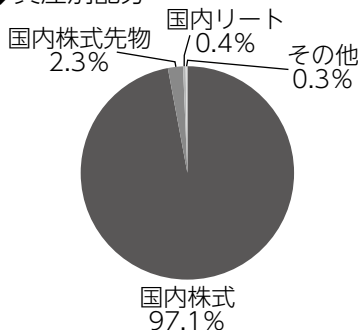
◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料	1円	0.007%
(株式)	(1)	(0.006)
(先物・オプション)	(0)	(0.000)
(投資証券)	(0)	(0.000)
合計	1	0.007
期中の平均基準価額は19,189円です。		

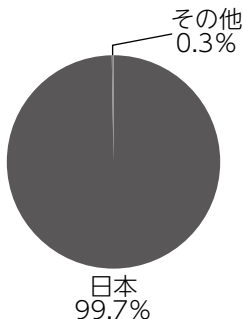
◆組入上位銘柄 (先物)

銘柄名	売買	比率
TOPIX	買建	2.3%
組入銘柄数	1銘柄	

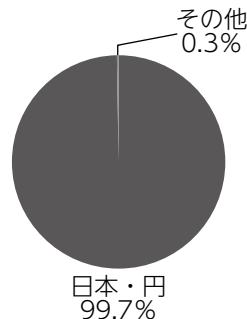
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) その他は、総資産総額を100%として、現物と先物の比率を差し引いたものです。また、国別配分、通貨別配分については、現物と先物の比率を合計して表示しています。

(注6) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

<当ファンドのベンチマークについて>

●MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス（円換算ベース、配当込み、為替ヘッジなし）

MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、日本の株式市場を広範に網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数の指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(このページは白紙です)

(このページは白紙です)

